

購入・販売電力料について

2023年4月4日
北海道電力株式会社

1. 購入電力料の算定概要

- 第38回料金制度専門会合でのご議論を踏まえ、燃料費等の採録期間を変更し、購入電力料の再算定を行っていますので、再算定後の概要となっています。
- 購入電力料は、購入電力量の増加および卸電力市場価格高騰による購入単価の上昇などにより、前回原価に比べ、967億円増加しています。
- 市場購入については、メリットオーダーにもとづく卸電力取引所からの調達を反映しています。また、相対購入のうち、子会社からの購入については、最大限の効率化を織り込んでいます。
- 今回原価より、新たな市場の創設などに伴い義務的に発生する費用（容量拠出金、非化石証書購入費用）を反映しています。

			再算定原価（A）		前回原価（B）		差引（A-B）		主な増減理由
			金額 （億円）	電力量 （億kWh）	金額 （億円）	電力量 （億kWh）	金額 （億円）	電力量 （億kWh）	
地帯間購入			－	－	2	－	▲2	－	
他 社 購 入	市場購入		710	40	93	6	617	33	取引量増および購入単価上昇
	相 対 購 入	水力	19	1	47	6	▲28	▲5	
		火力	375	16	560	33	▲186	▲17	高単価な自家発火力の購入量減
		新エネ	358	22	148	17	211	5	FIT電源拡大に伴う購入量増および購入単価上昇
		その他	205	9	62	9	144	0	その他相対取引による購入量増および購入単価上昇
	新 市 場	容量市場	194	－	－	－	194	－	2024年度開始予定
		非化石	19	－	－	－	19	－	
合 計			1,879	88	912	72	967	16	

※端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。

- 第38回料金制度専門会合でのご議論を踏まえ、燃料費等の採録期間を変更し、販売電力料の再算定を行っていますので、再算定後の概要となっています。
- 販売電力料は、常時バックアップなどの相対販売における販売電力量の増加および販売単価の上昇などにより、前回原価に比べ、1,000億円収入が増加しています。
- 今回原価より、新たな市場の創設などに伴い得られる収入（容量確保契約金額、需給調整市場からの収入）を反映しています。

			再算定原価（A）		前回原価（B）		差引（A-B）		主な増減理由
			金額 （億円）	電力量 （億kWh）	金額 （億円）	電力量 （億kWh）	金額 （億円）	電力量 （億kWh）	
地帯間販売			－	－	－	－	－	－	
他社販売	市場販売		148	7	4	0	144	7	取引量増および販売単価上昇
	相対販売	常時バックアップ	178	7	30	2	149	5	販売量増および販売単価上昇
		その他	323	12	－	－	323	12	その他相対取引による販売量増および販売単価上昇
	新市場	容量市場	238	－	－	－	238	－	2024年度開始予定
		需給調整市場	46	－	－	－	46	－	
		調整力公募等	47	－	－	－	47	－	調整力公募・ブラックスタート機能公募・電圧調整機能公募
	自社FIT売電		52	4	－	－	52	4	
合 計			1,034	29	34	2	1,000	27	

※端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。

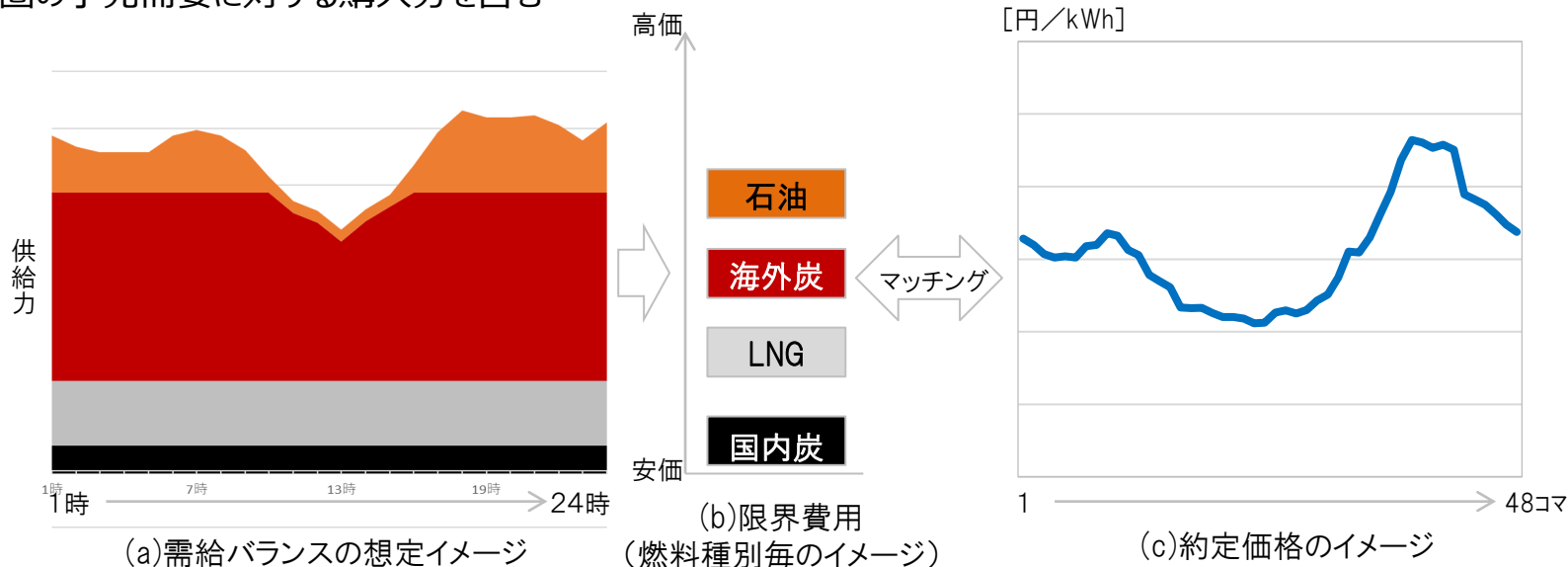
- メリットオーダーを前提とした卸電力取引市場の活用について、以下のとおり算定しています。
 - ① 限界費用については、各年度における各月毎の代表日（平日および休日）の需給バランスに基づきユニット毎に算定。
 - ② 市場価格については、2023年度先物価格を基に想定。
 - ③ 両者をマッチングさせ、売りおよび買いの約定量、約定額を算定。

卸電力取引所取引織り込み額

(億円)

	2023年度	2024年度	2025年度	3カ年平均
購入（※）	876	686	567	710
販売	129	146	171	148

※首都圏の小売需要に対する購入分を含む



4. FIT買取費用

- 当社は「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」に基づき、再生可能エネルギー（水力・風力・太陽光・バイオマス、地熱）のFIT電源の買取を行っています。
- 今回原価におけるFIT買取費用の織り込み額は、電力量増加および単価上昇により、前回原価に比べて213億円増加しています。
- FIT買取における実質負担額である回避可能費用は、想定市場価格をもとに以下のとおり算定しています。

【太陽光】想定市場価格を基に、北海道エリアの実績発電量(直近1年間、コマ別)で加重平均して算定

【太陽光以外】想定市場価格の月別平均

FIT買取費用の内訳

		再算定原価 (A)		前回原価 (B)		差引 (A-B)	
		金額 (億円)	電力量 (億kWh)	金額 (億円)	電力量 (億kWh)	金額 (億円)	電力量 (億kWh)
水力		7	0	1	0	6	0
新 エ ネ	風力	84	4	61	7	22	▲3
	太陽光	243	16	66	8	178	9
	バイオマス等	24	1	18	2	7	▲1
FIT買取 合計		359	22	146	17	213	5

※端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。

- 2024年度から取引開始される容量市場について、容量抛出台金（他社購入）および容量確保契約金額（他社販売）を以下のとおり織り込んでいます。

【容量抛出台金】

- 北海道エリアの小売電気事業者負担総額※¹に、エリア内の当社需要比率※²を乗じて算定。

※¹ 電力広域的運営推進機関が公表する「容量市場メインオークション約定結果」の試算結果に市場退出を考慮

※² 想定小売需要をエリアH3需要（実需給前年度）で除したもののについて、8月と1月の平均値を使用

【容量確保契約金額】

- 2024年度・2025年度向けメインオークションの約定結果に基づき、オークション約定後の市場退出等を考慮して算定。

容量市場織り込み額

(億円)

	2023年度	2024年度	2025年度	3カ年平均
容量抛出台金	—	374	207	194
容量確保契約金額	—	442	273	238

6. 調整力公募・需給調整市場

- 調整力公募や需給調整市場からの収益を想定し、以下のとおり今回原価に織り込んでいます。
- 調整力公募（電源Ⅰ、電源Ⅰ'）は、2023年度の落札結果を織り込み。
- ブラックスタート機能公募は、2025年度までの落札結果を織り込み。
- 電圧調整機能公募は、2023年度の落札結果および募集要件に基づき織り込み。
- 需給調整市場は、調整力として期待される、純揚水発電所の収益を織り込み。

調整力公募等の内訳

(億円)

	2023年度	2024年度	2025年度	3カ年平均
調整力公募（電源Ⅰ・Ⅰ'）	128	－	－	43
ブラックスタート機能公募	1	－	3	1
電圧調整機能公募	10	0	0	3

需給調整市場の内訳

(億円)

	2023年度	2024年度	2025年度	3カ年平均
需給調整市場収益（※）	－	58	79	46

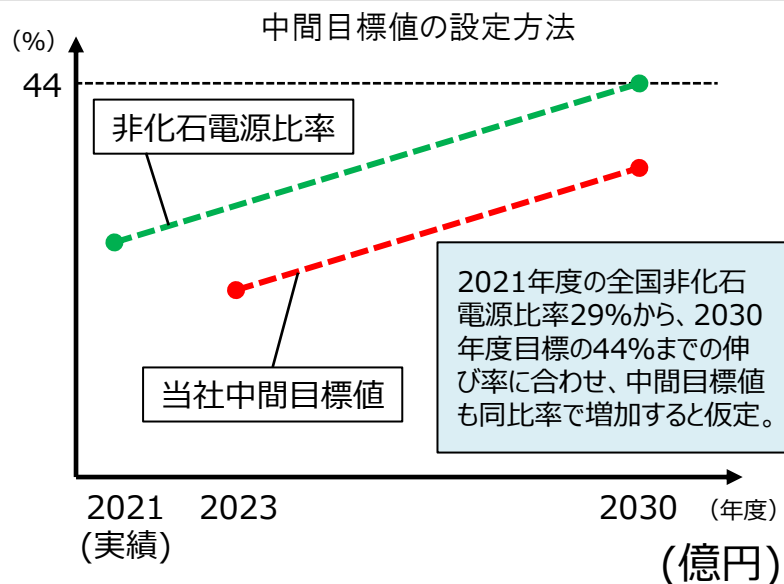
※調整力として期待される純揚水発電所の電源固定費から他市場収益（調整力公募・容量市場）を差し引いて算定

- 非化石証書購入費用は、各年度の目標達成に必要な非化石証書購入量に、購入価格を乗じて算定しています。
- 各年度の目標値は、2023年度目標（試算値※）から2030年度の非化石電源比率44%達成に向けて等差で目標値が伸長するものと想定しています。※第73回制度検討作業部会資料を参照
- 非化石証書の購入価格は、市場調達分については申請時点での直近市場価格である0.61円/kWh（手数料込）とし、相対調達分については、現行契約の購入価格を据置としています。

当社中間目標値の想定

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
中間目標値（%）	20.18	21.85	23.52

等差で伸長



非化石証書購入費用

	2023年度	2024年度	2025年度	3カ年平均
市場調達	14	20	22	19
相対調達	0	0	—	0
合計	15	20	22	19

※端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。